



地域でこんな活動が始まっています！

みんなで支え合うまちづくり会議のお知らせ

鏡石町協議体

"協議体"ってなに??

「協議体」とは、地域住民が主体となって、高齢者福祉をはじめとする地域の課題から「こんな支え合い・助け合いがあったらいいな(ニーズ)」を出し合い、それに対する仕組みについて“自分たちにできることをできる範囲”で、みんなで考えて進めていく「話し合いの場」です。

全国の市町村で設置されていますが、市町村によって協議体の設置数やメンバー形態、活動内容は異なります。

鏡石町協議体では“みんなで支え合うまちづくり会議”として月1回、地域づくりに関心のある町民の方(毎回15~20名程)が話し合いに参加して活動を行い、今年で3年目を迎えます。

これまでに“買い物便利マップ、地域サロンマップ、ボランティアかわら版”など、地域資源の見える化を図ったり、グループホームへの訪問や視察研修により実際に活動の様子を確認したり、先進地事例を参考にすることで、鏡石町にあった支え合いの仕組みへのアイデアや意見を出し合ってもらっています。



"今"こんなことをしています

新型コロナウイルスの影響により協議体の開催も中断され、今年は6月から活動を再開しました。再開当初、コロナ禍の自粛生活での過ごし方や工夫したことを協議体メンバーからお聞きするなかで、閉じこもりがちの方への心配や高齢者の孤立などの課題から、鏡石町の見守り体制を整えることへの必要性を感じ、現在、【高齢者等の見守りネットワークの仕組みづくり】について話し合いを進めています。

また、今年からサロンに出向いて「協議体」のことを知ってもらう活動【出張版ミニ協議体】を始めています。コロナ禍ということもあって話し合いまではできていませんが、自分たちにもできる支え合いについて働きかけを行っています。

参加してみませんか?

鏡石町協議体では、地域の課題に対する仕組みづくりを一緒に考え、活動に参加してくれる方を募集しています。“鏡石町をもっと良くしたい”“支え合いづくりに参加してみたい”という思いがある方なら老若男女問わず、どなたでも参加できます。参加は自由です。見学だけでもOK!お気軽にご連絡ください。



●問い合わせ先 町社会福祉協議会 ☎62-6428

交通事故死者ゼロ1,000日達成 県交対協会長賞を受賞

9月26日(土)午前0時をもって、町内での交通事故死者ゼロ1,000日を達成したことを受け、町交通対策協議会(会長:遠藤栄作町長)が県交通対策協会会長賞を受賞し、町役場で表彰伝達式が行われました。

表彰伝達した県中地方振興局の小柴宏幸局長は「関係機関の積極的な啓発活動の賜物。引き続き安心安全なまちづくりへご尽力をお願いします」とあいさつしました。



9/28 (月)

関係団体の代表者が出席した表彰伝達式

町消防団中継放水訓練 火災に備え 連携確認

鏡石町消防団(稲田幸吉団長)は、町東部工業団地内で中継放水訓練を行い、約70人が参加しました。

今回は初の試みとして、事前に団員らに訓練の詳細を伝えない「ブラインド訓練」という方法で実施し、団員らは、より実際の火災発生時に近い状況で訓練を行いました。また、須賀川消防署鏡石分署の署員らが指導に当たり、訓練で見た改善点などを団員に指導しました。



10/18 (日)

真剣な表情で訓練に取り組む団員ら

橋本五輪相が岩瀬農業高校訪問 生徒たちの取り組み視察

橋本聖子五輪相は、東京五輪の選手村での食材調達基準となる「GAP認証食材」の生産に取り組む岩瀬農業高校を訪問しました。

橋本大臣は校内のソーセージ加工施設を視察した後、GAP認証を受けた米のおにぎり、水菜のサラダ、町のふるさと納税の返礼品にもなった「無添加あまざけ」などを試食し、生徒の取り組みに理解を深めていました。



10/22 (木)

視察に訪れた橋本聖子五輪相(中央)

(仮称)健康福祉センター 建設事業委員に委嘱状

健康・福祉・防災の新たな拠点として整備する(仮称)健康福祉センターについて、様々な分野からの意見を取り入れるため、町民や大学教授等の有識者16人を建設事業委員に委嘱しました。

委嘱状交付式と第1回委員会が町勤労青少年ホームで行われ、今後、複数回にわたって施設の内容や事業内容について協議していく予定です。



10/22 (木)

遠藤栄作町長から委嘱状を受ける委員(右)